

はんだ

市議会だより

No.209
2019.11.1



半田市議会へ



- 一般質問、11人が市政を問う! P.2~5
- 9月定例会審議結果 P.6・7
- 決算認定議案の審査から P.8・9
- 第3回Qイズ!GIKAIへGO!!を開催 P.10・11
- 政務活動費活動報告 P.12

表紙写真/Qイズ!GIKAIへGO!!

市政を問う

一般質問

9月定例会における一般質問は、8月27日、28日、29日に行われ、11人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳しい内容は会議録をご覧ください。今定例会の会議録は市議会ホームページで11月20日頃から閲覧いただけます。または半田市立図書館、亀崎図書館にも設置してありますのでご利用ください。

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

不登校児童・生徒の支援体制



創造みらい半田 水野尚美

問 小・中学校における不登校児童・生徒が増えている現状をどのように考えていますか。

答 大変憂慮する事態であり、悩みを抱えている児童・生徒を早期発見、早期対応し、不登校を未然に防ぐ措置が重要と考えています。

問 不登校児童・生徒に対する学習や、その他、学校で体験できる様々な学びの保障をどのようにしていますか。

答 自学自習ができるようプリントなど教材を配付する他、「半田市適応指導教室」や「NPO法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク」を紹介し、様々な体験活動を通じた学びができるようにしています。

問 人と関わる事や、体験する事を重視した支援体制の充実が必要と考えますがいかがですか。

答 様々な人との関わりや体験活動を通して達成感を高められるよう、新たな居場所の確保や、

児童・生徒の選択肢を増やします。

問 学校と家庭を繋ぎ、児童・生徒の育ちをサポートするスクールソーシャルワーカー(以下SSW)の必要性をどのように考えていますか。

答 近年の児童・生徒に起こる問題は複雑化しており、SSWが担う役割の必要性は高まっていると認識しています。

問 SSWを雇用契約に変更し、1名から数名に増員すべきと考えますがいかがですか。

答 次年度以降は、雇用契約を結び事案を決めたいと考えていますが、直ちに増員するのではなく、本年度増員した教育相談員などと共に、支援体制の整備や、関係機関との連携強化を図ります。

問 児童・生徒・保護者を支援する人の役割や支援内容が明確に視覚化されているガイドなどが必要と考えますがいかがですか。

答 児童・生徒に関わる様々な職種役割や支援内容が示されたガイドは、より効果的な支援に繋がると考えるため、作成に向けて取組みます。



ごみ問題を問う



無所属 鈴木健一

問 ごみ処理の広域化に伴い、家庭系ごみの有料化が検討されています。家庭系ごみ有料化に向けた地域意見交換会の参加人数は約500人と聞いていますが、それですと十分だと考えますか。

答 計画段階において市民の皆様のご意見をお聞きする場として開催しました。多くのご意見をいただくことができ、成果があったと考えています。

問 今後、市民に向けた説明会が予定されていますが、市民の声は市政に反映してもらえますか。

答 細かい所は変えられませんが、骨子は変えられません。

問 骨子は変えませんが、市民の反対の声が多くても有料化を進めるのですか。

答 進めます。家庭系ごみの有料化はごみ減量効果が少ないと考えられるため、反対ですが、目的は何ですか。

答 「ごみの減量と資源化の推進」「負担の公平性の確保」「財政負担の軽減」の3点です。

問 袋の値段は原価に手数料を足したものと聞いていますが、内訳と法的根拠はなんですか。

答 近隣市町の手数料水準を参考にしようとして、市民の負担割合を、ごみ処理費用の3分の1としました。法的根拠はありません。

問 地方自治法では不特定多数の市民から手数料が取れないことになっていますが、整合性はどうか考えていますか。

答 全国で6割の自治体が手数料を取っているのが大丈夫と考えています。

問 ごみの減量が目的で家庭系ごみを有料化するのであれば、事業系ごみの手数料も値上げは当然と考えますがどうですか。

答 検討します。

問 プラスチックごみ問題になっていますが、半田市での注意喚起など、出来る事をやっていく考えはありますか。

答 半田市民にもごみ減量と資源化の観点で理解と協力を求めたいと思います。





維新・半田市民の会
中川 健一

赤レンガ観光拠点事業は市外の観光客へ巨額の税金ばらまき

問 赤レンガ建物にまつわる歴史や思想を学ぶことができる常設展示室への平成30年度の入場者数は平成27年度より27%減りました。観光客から見放されていると考えますがいかがですか。

答 当初の期待が大きかった分、徐々に減ってきたと考えています。

問 市民から常設展示室を続けて欲しい、と言うニーズはどれぐらいありましたか。

答 そのようなことは調べていません。

問 貸室の利用率は平成30年度にわずかに16.3%でした。市民から貸会議室が欲しいと言う声はどれぐらいありましたか。

答 市と関係者が話し合われた結果として整備された結果として、市民からの声については明確な答えは無いと言つことですね。アイプラザ半田や市役所にも空いた会議室がたくさ

んあります。赤レンガ建物で貸会議室事業をわざわざやる意義は何ですか。アイプラザの会議室とは目的が違います。

問 赤レンガ建物は耐震補強など整備に約23億円、運営に年間約6600万円の税金を使っています。経済効果はいくらですか。

答 経済波及効果は25億円との推計です。

問 税金はいくら増えましたか。

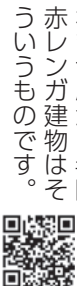
答 金銭面に換算はできません。

問 法人市民税が増えているかどうかは分からない、と言つことではない、では市内のどこのお店やホテルが赤レンガ観光事業の経済効果の恩恵を受けていますか。

答 直接的には聞いてはおりません。

問 経済効果は机上の空論、貸会議室はガラガラ、常設展示室への入場者数は大幅減少傾向、市民からの必要性も市役所は調べていません。市外のお客様へ毎年6600万円の税金を使う正当性を教えてください。

答 価値観が違うので議論しても無駄かもしませんが、半田赤レンガ建物はそういうものです。



創造みらい半田
芳金 秀展

持続可能なまちづくりに必要な開発目標SDGsの活かし方

問 第7次半田市総合計画策定にSDGsの基本理念である「持続可能なまちづくり」を基本構想に盛り込むべきと考えますがいかがですか。

答 令和3年度から始める第7次総合計画においては、基本構想に持続可能なまちづくりの視点も取り入れながら進めていきます。

問 SDGs 未来都市公募に積極的に応募するべきと考えますがいかがですか。

答 まずは総合計画策定を優先して進め、各種計画の具体的な検討段階での過程で、SDGs 未来都市計画およびモデル事業についても議論していきます。

問 市民や民間企業への情報提供において、SDGsの17の目標を逆算思考で目標を達成する考え方を、世界を良くするために自らが起点となる考え方などは、市民の意識の向上や住民福祉の向

上に繋がると考えますがいかがですか。

答 一人ひとりの小さな行動が、国際的な目標であるSDGsの達成という大きな力につながることを認識してもらい、市民が自分事として問題意識を持っていただけるよう、まずは市報等で紹介することから取り組んでいきます。また、民間企業への啓発も半田青年会議所や半田商工会議所とも連携しながら、進めていきます。

問 知多半島でのSDGsの先駆的な取り組みを起し、リーダーシップを発揮するべきだと考えますがいかがですか。

答 SDGsは同じ分野での取り組みを同じ目標で考えることができる「共通言語」としてのメリットがあります。半田市としてはこれまで同様先駆的な取り組みを続けていくと共に、会長市でもある知多市町会においても、今年度中にSDGsの研修会を開催し、理念や取り組みについて理解を深めていきます。



公明党
山本 半治

食品ロス削減推進法の成立に向けて

問 食品ロス削減推進法が成立して、政府や自治体、事業者、消費者が連携しながら「国民運動」として取り組むことになりました。そして、10月が食品ロス削減月間となりましたが、半田市ではどのような事業を予定していますか。

答 食品ロス削減月間にあわせた啓発活動を行っています。

問 3年後の令和4年度に、新たなごみ処理施設の供用開始に向けて1人1日当たりの家庭ごみ排出量を57gから50gにする目標が示されています。そのためには半田市独自の更なる食品ロス削減が重要となりますが、どのような取り組みを行っていますか。

答 家庭で余っている食べ物などを持ち寄る「フードドライブ」の開催や、市民の方からの食品ロス削減のアイデアなどを紹介したり、事業をされている方には、「食べ残しゼロ」を目指して

商工会議所の部会の方々と効果が上がる対策を積極的に行っていきます。

問 神奈川県横浜市では、元氣な高齢者の生きがいづくりと介護予防につなげるために、65歳以上の元氣な高齢者が特別養護老人ホームなどで入所者の話し相手になるなどのボランティア活動を行った場合「ポイント」を付与し貯まった「ポイント」で換金などができるボランティアポイント制度を行っています。半田市も導入すべきと考えますがいかがですか。

答 現時点では、この制度の導入は考えておりませんが、今後は高齢化によるボランティア支援者の減少が考えられるので、しっかりと調査をさせていただきます。

法案で示された「国民運動」のポイント

- ▶ 政府が食品ロス削減の基本方針を策定
- ▶ 基本方針を踏まえ、都道府県と市町村が削減推進計画を策定し、対策を実施
- ▶ 消費者や事業者に対する普及啓発
- ▶ 食品ロス削減の功績者を表彰
- ▶ フードバンクの活動を支援
- ▶ 政府や自治体に協力し、削減へ積極的に取り組む
- ▶ 食品の購入や調理方法を改善するなど自主的に取り組む

介護支援ボランティア活動の推進

食品ロス削減推進法が成立して、政府や自治体、事業者、消費者が連携しながら「国民運動」として取り組むことになりました。そして、10月が食品ロス削減月間となりましたが、半田市ではどのような事業を予定していますか。

食品ロス削減月間にあわせた啓発活動を行っています。

3年後の令和4年度に、新たなごみ処理施設の供用開始に向けて1人1日当たりの家庭ごみ排出量を57gから50gにする目標が示されています。そのためには半田市独自の更なる食品ロス削減が重要となりますが、どのような取り組みを行っていますか。

家庭で余っている食べ物などを持ち寄る「フードドライブ」の開催や、市民の方からの食品ロス削減のアイデアなどを紹介したり、事業をされている方には、「食べ残しゼロ」を目指して





公明党 坂井美穂

風水害から命を守る マイ・タイムライン

問 防災マップ、浸水実績図を市民に確実に浸透させ、活用してもらうためには、自分の環境と状況におけるリスクを把握し、逃げ方を考え、自分の命は自分で守るマイ・タイムラインの作成が有効であると考えますが、いかがでしょうか。

答 マイ・タイムラインなどの行動計画の作成については、住民自らが地域や自宅周辺の災害リスクを考え、逃げ遅れることのない避難行動を具体化するもので、「家族の命を守る」対策として、有効性の高いものと考えています。

問 風水害からの逃げ遅れゼロを実現するために、避難勧告によって、市民が適切な避難行動に移れるようにすることが必要であり、半田市としてマイ・タイムラインなどの家庭での防災行動計画の作成支援に取り組むべきであると考えますが、いかがでしょうか。

答 市民が防災行動計画を容易に作る事ができるよう、ひな形を作成し、ホームページへの掲載などにより周知を図っていくとともに、地域の防災講話や防災訓練などにおいて、実際に作成していただく機会を作っていきます。

問 マイ・タイムラインなどの行動計画の作成については、まずは小中学校での取り組みを開始して子どもたちから効果を実感してもらい、その取り組みの様子について回覧板や市報、ホームページなどで周知を図りながら、幅広く市民への啓発を広げていくことが、逃げ遅れゼロの突破口となると考えますが、いかがでしょうか。

答 子どもたちが学校での取り組み成果を各家庭に持ち帰ることにより、家庭、ひいては地域への広がりも期待できることから、まずはモデル校を選定して取り組み、全18の小中学校に広げていきます。その成果を市全体で共有し、半田市民の風水害からの逃げ遅れゼロに繋げていきます。



市政を問う

一般質問（質問議員が執筆しています）



創造みらい半田 伊藤正興

小中学校のエアコンについて問う

問 日本語指導教室にエアコンの設置が見送られた理由を教えてください。

答 子ども達が普段、最も長い時間を過ごす場所である全ての普通教室に、夏までに設置するという事を最優先と判断したため、日本語指導教室を含む特別教室への設置を見送りました。

問 全教室へのエアコン設置を提案しますが、見解を伺います。

答 今後、校舎の建替えで必要なくなったエアコンを他の学校の特別教室に移設していきます。また新たに作る校舎は、特別教室を含む全ての教室に設置を進めていきます。

小中学校の非構造部材の耐震化を問う

問 現状の課題をどのように認識していますか。

答 点検箇所の中から、修繕の緊急性を的確に判断し、今後の校舎の

建替え計画を見据えたなかで効率的に実施していくことと認識しています。

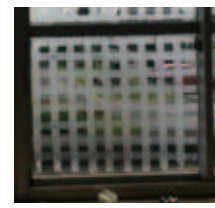
小中学校の耐震ガラスと飛散防止フィルムについて問う

問 飛散防止フィルムは、定期的なメンテナンスが必要ですが、どのように行われていますか。

答 紫外線などによる劣化が避けられず、長持ちさせる有効な手段もない中、具体的なメンテナンスが出来ずに劣化が進んでいます。

問 子ども達の安全確保と地域の避難所としての使用を考慮すると耐震ガラスの推進が必要と考えますが見解を伺います。

答 校舎については、建替えの際には、強化ガラスを採用するなどの対策を行います。飛散防止テープは、劣化が顕著で、貼り替えや強化ガラスへの交換が必要と認識しており、必要となる措置については今後実施していきます。



飛散防止テープ処理の校舎窓ガラス



創造みらい半田 岩田玲子

子どもが遊ぶ公園の禁煙化について問う

問 幼児、児童の遊んで過ごす公園に、近年流行の電子タバコの吸い殻が散乱していることが頻繁に見られます。幼児が誤って口に入れてしまう恐れもあり、子どもの遊び場である公園の全面禁煙を願うものです。半田市として禁煙にする考えはありますか。

答 昨年7月の健康増進法の改正により今年7月から公共施設等の禁煙について施行されています。ちびっこ広場や児童遊園は既に禁煙が義務となつていますが、その他、子どもが多く集まる遊具周辺の雁宿公園南エリアや、七本木池公園東エリア、運動公園の子どもの遊具のあるエリア周辺の禁煙は今後実施していきます。

問 今後、幼児、児童が遊ぶ公園の禁煙をどのように周知していく予定ですか。

答 市報や注意看板の設置などにより、周知を図っていきます。

東京2020オリンピック聖火リレーについて問う

問 聖火リレーについて把握している状況を伺います。

答 4月7日に、運河上流に架かる新橋の南を出発地として、源兵衛橋の南から船により、船方橋の西北にある蔵のまち公園を到着地として実施されます。

問 聖火リレーに市民参加型のセレモニーを考えていますか。

答 聖火リレーのミニセレブレーションが予定されていますが、半田市独自のセレモニーの開催は、多くの市民が参加できるイベント等を協議していきます。

問 記録を残し、公共施設に展示する考えはありますか。

答 記録等を後世に残し、伝えることは大切なことだと認識しています。映像を始め、聖火リレーで使用されたトーチやユニフォームなどの公共施設での展示や、聖火リレーのスタート・ゴール地点に路面サインや記念プレート等の設置ができるよう進めていきます。





創造みらい半田
久世孝宏

ごみ処理有料化について市民に真摯な姿勢で説明を

問 令和4年度から、知多半島南部の2市3町が共同でごみ処理を行う知多南部広域環境センターが運用開始になります。半田市の平成30年度のごみ処理費用のうち、センターで処理をする品目はいくらかですか。

答 知多南部広域環境センターで処理を予定している、燃やせるごみ・燃やせないごみ・粗大ごみの処理費用は約7億円です。

問 知多南部広域環境センターが稼働し、平成30年度のごみ量を搬入すると仮定した場合、半田市の負担金額はどのようになりそうですか。

答 知多南部広域環境センターの運営費は、各市町のごみ搬入量で按分することになっており、半田市の負担金は、年間4億円程度になると予想しております。

問 今まで税金で行っていたことの費用、ましてや共同運営による効

率化により費用の軽減が見込まれるのに、ゴミ処理の有料化という形で市民に金銭的に負担いただくことは増税と同じだと考えますが、その意識が半田市にはありますか。

答 ごみの排出量に応じた手数料としてご負担いただくことから、用途が特定されない税金とは趣旨が異なるため、税金とは捉えていません。

問 市民の負担が増えることには変わりなく、そのことに対して、お願いの姿勢が不足していると感じますが、この指摘をどう考えますか。

答 新たな負担を求めるということと、丁寧な説明していくべきと考えます。

問 ごみ処理の有料化の目的が達成されるならば、目的が達成された時には有料化をやめるなどの処置がないと、目的と方法に矛盾が生じます。市の新たな収入確保のためという目的はありますか。

答 第一の目的はごみ減量でありますが、結果として収入増につながります。その収入をどう使うかもきちんと説明をしていきます。



維新・半田市民の会
加藤美幸

花咲く緑のまちづくりへ

問 公園の配置の適正化、新設・廃止の予定、利活用はどうなっていますか。

答 半田市緑の基本計画に基づき市民が等しく利用できる配置が概ねできています。任坊山公園宮池エリア、(仮)大高公園を整備中です。来年度以降、(仮)城ノ上公園、柘丘公園、南廻間池公園の整備を計画しています。利用頻度の少ない公園には、応急避難場所としての防災機能や緑の保全の役割があり廃止は考えていませんが、花壇の設置を含め市民からの提案や地元の皆さんと協議する中、より良い活用方法を考えます。

問 市民が参加する、公園などの維持管理や花壇づくりへの補助の状況はどうなっていますか。

答 花壇づくりには特化した補助制度はありませんが自主的な公益活動を支援する「市民活動助成事業」では花壇をつくる団体へ助成金を交付し

ています。また「地域環境整備事業」では、球根や培養土などを支給し花壇づくりを支援しました。名古屋市など、いくつかの自治体では「花壇入替制度」を取り入れ、民間からの協賛金による花壇づくりを奨励しています。スポンサー名やメッセージを掲示することでPR効果にもつながります。他には植栽や花の手入れをしていただく「花壇サポーター制度」や「公園ボランティア制度」など、市民が主体的に公園づくりに参加できる自治体も有ります。半田市は新たな仕組み作りに対し、どのように考えていますか。

答 現在「地域環境整備事業」や半田市民憲章実践協議会による花の苗の提供があり、現時点では「花壇入替制度」は考えていませんが多くの人が花壇づくりに協力してくれるようニーズの把握や、支援制度のPRを積極的に進めます。



維新・半田市民の会
竹内功治

新学習指導要領の内容と展望を伺う

問 日本の伝統や文化を学ぶ教育について、その内容を伺います。

答 幼稚園では童謡を歌うことや伝承遊び、小中学校では地域の高齢者を招いて昔の話や体験をする活動を行います。

問 半田市の伝統文化である山車行事を深く学ぶべきではないですか。

答 書物関係で学ぶ予定ですが、直接に話を聞く機会も考えます。

問 道徳は教科化され、力をつけることですが、その内容を伺います。

答 家庭や地域も巻き込み問題解決的・体験的な授業実践を進め、意見が対立しても相手の考えを聞いて話し合う「考え・議論する道徳」を行い、多面的な考えを持つ児童生徒を育みます。

問 授業時間などによる教員の負担軽減のため、支援員などを増員すべきではないですか。

答 外国語指導助手などの支援員を増員する考えはないですが、県配置の2名の外国語専任教員の増員を県に求めます。

問 物事を論理的に考えるプログラミング的思考を育むプログラミング教育を行うとのことですが、タブレット端末の整備や感情認識ヒューマンノイドロボットのペッパーさんの配置など、ICT環境の充実を図るべきではないですか。

答 タブレット端末の整備やペッパーさんの配置は考えていませんが、プログラミングを学べる学習者用パソコンやソフトの充実を図ります。

問 今回の改訂による教員のスキルアップの取組みは考えていますか。

答 教育委員会主体の全体行事を見直すなどから、授業研究会や研修会などを実施する考えです。



審 議 結 果

令和元年第4回定例会（8月27日～9月25日）
（ ）内は議案の補足説明です。

■全会一致の案件

議案 番号等	議案名
議案56	令和元年度半田市学校給食特別会計補正予算第1号（前年度繰越金を材料費の高騰などのときに使えるよう、予備費として計上したもの）
議案57	令和元年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第1号（固定資産税の課税誤りにより、国保税還付金等の増加に伴い歳入歳出予算を補正する措置）
議案58	令和元年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第2号（前年度超過交付となったことにより、国・県・支払基金に返還する措置）
議案59	令和元年度半田市立半田病院事業会計補正予算第2号（医療事故に和解による損害賠償金（549万9千円）と、半田病院の整備のための寄附金（23,852円））
議案60	半田市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について（外国で勤務をする配偶者と外国で生活を共にするための休業制度で国家公務員に準拠し新たに条例を制定するもの）
議案62	半田市パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について（臨時職員及び非常勤職員の適正な任用、勤務条件を確保するために、地方自治法及び地方公務員法の一部を改正する法律が施行され、給与及び費用弁償について必要な事項を定めるもの）
議案63	半田市手数料条例の一部改正について（一時的に使用するために仮設の建物を建築するような場合、支障がない場合に既存の建物を使用できる制度が追加され、許可申請手数料を新設するもの）
議案64	半田市立幼稚園保育料条例の廃止について（国の幼児教育・保育の無償化に伴い幼稚園保育料条例を廃止するもの）
議案65	半田市立保育所条例等の一部改正について（国の幼児教育・保育の無償化に伴い保育所条例の一部を改正するもの）
議案66	半田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について（法律の改正に伴い貸付けを受けた者に必要に応じし報告を求めることができるよう改正するもの）
議案68	半田市消防団条例の一部改正について（「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」が公布されたことに伴い、「成年被後見人等は、消防団員となることができない」とする規定を削除するもの）
議案69	半田市水道事業給水条例等の一部改正について（指定給水装置工事事業者の更新制度を新たに設けることから、更新手数料を定めるものなど）
議案70	半田市印鑑条例の一部改正について （旧氏による印鑑登録および印鑑登録証明書へ旧氏が記載できるようにするものなど）
議案72	平成30年度半田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について （水道事業会計の未処分利益剰余金を自己資本金などへ組み入れるものなど）
議案73	平成30年度半田市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について （下水道事業会計の未処分利益剰余金を減債積立金へ積み立てるものなど）
議案74	損害賠償の額の決定について （医療事故における半田市と被害者との和解に伴う損害賠償の額の決定するもの）
認定1	平成30年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成30年度半田市学校給食特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成30年度半田市黒石墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成30年度半田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成30年度半田市モーターボート競走事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定2	平成30年度半田市立半田病院事業会計決算の認定について
認定3	平成30年度半田市水道事業会計決算の認定について
認定4	平成30年度半田市下水道事業会計決算の認定について

■その他の案件

議案 番号等	議案名
報告14	専決処分の報告について（公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定）
報告15	専決処分の報告について（除草作業中の事故の和解及び損害賠償の額の決定）
報告16	専決処分の報告について（道路管理に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定）
報告17	平成30年度半田市決算に係る健全化判断比率について
報告18	平成30年度半田市公営企業決算に係る資金不足比率について
報告19	知多南部卸売市場株式会社の経営状況について
	半田市選挙管理委員会の選挙管理委員の選挙について（令和元年12月19日任期満了の選挙管理委員について、後任者として服部裕子氏、尾前宣男氏、前田早苗氏、成田吉毅氏を候補者とし選挙するもの）
	半田市選挙管理委員会の選挙管理委員補充員の選挙について（令和元年12月19日任期満了の選挙管理委員補充員について、後任者として石田 孝氏、天野郁子氏、澤田厚史氏、澤田恵子氏を候補者とし選挙するもの）

賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名	議員名										議決結果													
		創造みらい半田																							
		石川英之	芳金秀展	沢田清	水野尚美	鈴木幸彦	伊藤正興	澤田勝	岩田玲子	渡辺昭司	久世孝宏	榊原伸行	山田清一	坂井美穂	山本半治	加藤美幸	中川健一	竹内功治	小栗佳仁	小出義一	新美保博	嶋崎昌弘	鈴木健一		
議案55	令和元年度半田市一般会計補正予算第2号 (固定資産税等の課税誤りによる還付金・高校生等の通院・入院に関する「子ども医療費助成事業」の対象者拡大も伴うシステム改修費・マイナンバーカードの普及促進のための事務費など)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案61	半田市特別職員の給与の特例に関する条例の制定について(固定資産税の課税誤りにより市民の市政への信頼を失墜させたことへの責任をとり、市長と副市長の給料を減額するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案67	半田市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について(医療費助成の対象を現在の中学生から18歳に到達した年度末までに拡大するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案71	半田赤レンガ建物の指定管理者の指定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
認定1	平成30年度半田市一般会計歳入歳出決算の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定1	平成30年度半田市中小企業従業員退職金等福祉共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定1	平成30年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定1	平成30年度半田市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定1	平成30年度半田市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
意見書案1	定数改善計画の早期実施と義務教育国庫負担制度拡充を求める意見書の提出について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

(表の見方) 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員



賛成討論

議案55・67号に賛成

久世孝宏議員

高校生まで医療費助成を拡大することに様々な懸念点がありますが、トータルで子育て支援を行うことを半田市がしっかりとPRしていく、という決意を確認し、シテイブローション施策の重要性を考え、会派として賛成します。また、議会も一丸となって推進したく賛成討論とします。

反対討論

議案55・61・67・71に反対

中川健一議員

赤レンガ建物観光拠点化事業は建築物整備等に約23億円、年間運営費約6600万円もの巨額の税金が市民ではない観光客に費やされています。

ところが、入場料200円の常設展示場への入場者数は平成30年度が平成27年度より27%減少、貸会議室の利用率はわずか16.3%、経済効果は不明と言うデータが事業です。廃止してください。

議案55・67号に反対

嶋崎昌弘議員

議案55号・67号における高校生までの医療費助成を拡大することについて反対です。

半田市が行うべき子育て支援策は他にも多くあり、仮に医療費助成が高校生まで拡大する費用がある場合、今優先すべきは義務教育年齢である中学生の通院費全額助成です。市は計画性を持って費用対効果を十分に見通したうえで実施すべきです。

決算認定議案の審査から

9月定例会では昨年度の予算が適正に執行されたか、その過程や結果について議会がチェックをする決算認定議案の審査が行われ、いずれも認定されました。

委員会でのどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

総務委員会

ふるさと納税事業

問 半田市への納税額約1千6百万円に対し、出ていく税収は約2億1千万円で、前年度よりも約5千万円増えています。出ていく税収分を入りで賄えるように努めることでしたが、昨年度はどのように取り組みましたか。

答 昨年度、事業の改善に向け協議し、今年度は返礼品の品目を増やす等の見直しを行うとともに、イベント型のメニューを増やすことなど、市の他の施策とタイアップする事も検討しています。

シティプロモーション推進事業

問 この事業は主に、半田市への転入者の増と、定住者の増を目的に行っていると思いますが、平成30年度はどのように事業展開し、得られた成果はどのようなものでしたか。

答 平成30年度は主にテレビ局への営業活動を行いました。半田市を知っていたら、転居地として半田市を思い浮かべ、選んでいただくことを目指しています。放映

後は多くの方にお声がけいただき、手応えを感じています。

防災行政無線整備事業

問 平成30年度で無線配備が完了したとのことですが、屋外拡声器が聞こえづらいという声があります。屋外拡声器の音が届かない市民への対応は行いましたか。

答 屋外拡声器が聞こえづらい市民のために、聞き直しができる電話回線を配備しています。自治区長さんにお配りしている個別受信機を活用した情報伝達の検討を考えています。

クラシティ期日前投票所

問 期日前投票所としてクラシティを追加していますが、その効果はいかがですか。

答 利用率3%をラインとしてとらえ、3%を下回るものがなかったため、一定の効果があると考えています。

半田病院経営

問 昨年度、看護師の離職率が上がったことについて、看護師不足は、全国的な課題でありながら、中には不足していない公立病院もあります。そのような病院のノウハウを

得ることや、その他のように取り組みましたか。

答 公立の急性期医療を行っている看護局と交流を深め、情報交換を行った中で、看護師が看護師業務に専念できる環境を整えば離職率は下がると分析しましたので、看護助手を増やしていくことで、離職率も一昨年の7%台まで下げられると見込んでいます。

文教厚生委員会

亀崎地域総合福祉センター事業

問 利用者数が3年で、2万人以上減っていることについてどう考えますか。

答 定年後の就労、趣味の多様化などによって、利用者数が減ってきたものと考えられています。今後は施設運営上の問題も含め、利用者アンケート調査などを行い、施設の方角性や運営委託の内容について検討していきます。

児童センター管理運営事業

問 児童センターの老朽化に伴い、他施設との複合化に関する話し合いをしましたか。

答 施設の複合化の必要性については認識していましたが、本年度策定する「子ども子育て支援事業計画」の中で議論していきます。

いじめ不登校対策事業

問 相談件数、不登校生徒児童数が増えていることについてどう考えますか。

答 相談事業については相談を受けただけでなく、こちらからアプローチするようになったこと、一人の相談を複数回行うなど、手厚い支援を行うようになったことで増加したものと考えています。

中学校の部活動

問 土曜・日曜のうち、どちらかが部活動を実施できないことになっており、部活をやりたいけど、できないという声を聞いていますが、どのように考えていますか。

答 半田市では、スポーツ庁が示した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に基づき決定しており、子どもの健康を第一に考えた結果、現在の運用になっています。

こんにちは赤ちゃん訪問事業

問 「こんにちは赤ちゃん訪問」を民生委員が実施する目的は何ですか。また、行政と民生委員との連携体制はどうなっていますか。

答 事業の目的は、新生児の子を持つ親に「地域の見守り、支えがある。」ということを理解してもらおうことです。連携体制については、民生委員が訪問した家庭で気になることがあれば保健センターに連絡し、保健師が対応することになっています。

旧中荃家住宅保存管理事業

問 旧中荃家住宅の活用についてはどのように検討しましたか。

答 旧中荃家住宅は、空調、照明、トイレなどが使用できないため、観光等に活用しにくい物件ですが、保存活用検討委員会を設置し検討してきました。そこでは、他の観光施設と連携した周遊ルートでの作成などが検討されており、本年度も引き続き検討していきます。

建設産業委員会

臭気対策

問 臭気指数の注意喚起基準値を半田市は15以下としています。畜産農家は軒数を超えていた。臭気対策はどのように市民へ広報していますか。

答 今年の6月に市内すべての畜産施設54軒で臭気測定を行い、うち51軒は臭気指数15以下でした。15を超過した残り3軒に対しては指導を行っています。結果については、市報では広報していませんが、個別の苦情対応に限り、苦情者に測定・指導状況を伝え、理解をしていただけるよう努めています。

公園管理事業

問 自治区と結んでいる公園管理委託契約では、トイレ清掃や除草作業は何回行う契約になっていますか。

答 公園管理委託の契約書では、トイレ清掃や除草作業の明確な回数は謳っていません。除草作業については、□頭で年3回程度お願いをしています。実際の作業回数については自治区等により異なります。市民から除草につ

て苦情を頂くことも少なからずありますので、適正に管理していただけるよう今後もお願いしていきます。

問 自治区等で公園を適切に管理することが困難であれば、確実に管理が任せられる専門業者をコストが高くて選び、公園管理をするべきではありませんか。

答 市民協働による自治区等への公園管理の委託は、地域に愛着を持って管理をしていただくことが目的です。今後市民協働の観点から自治区にお願いをしていきたいと考えています。

中小企業従業員退職金等福祉共済事業特別会計について

問 決算審査意見書の中で、監査委員より「当該共済事業のリスク管理が不十分であったことにより、約9億2千万円という多額の市税負担を強いられることは大いに反省すべき。」との指摘がありました。率直な感想は何ですか。

答 一定の形で対策を打ったという部分においては市の事業のまとめ方としては良いとは言いませんが、最悪のシナリオではなかったと

思っています。平成31年4月1日付で事業を廃止できたことは大きな一歩と考えます。

水道事業

問 水道料金の値下げは検討していますか。

答 水道事業は黒字経営を続けていますが、□座振替のお客様への割引制度も設けていることから、値下げは検討していません。一方で内部留保も充分ではなく、今後あるべき施設の規模や必要な資金を考えた上で、それに合わせた料金を検討していく必要があると考えています。

下水道事業

問 下水道事業は赤字続きですが、いつの時点で黒字化できますか。

答 下水道事業は、下水道管の整備などに多額の投資を行っており、一般会計からの繰入金もいただき事業を継続しています。

汚水事業では、お客様からの使用料単価1トンあたり119円に対して、利息償還も含む処理単価は約183円となっており、今の料金体系では黒字化は困難な状況です。

決算審査に係る反対討論

中川健一議員

1つ目は賑わいづくり事業が失敗を重ねていることです。市役所主導の賑わいづくりは市役所の能力を超えています。2つ目は無駄な大型公共施設があるため、建設費や維持管理費に巨額の無駄な税金が使われていることです。

3つ目は税金の無駄遣いのため、教育・子育て、臭気対策、文化や景観など住環境をよくする予算が足りません。

鈴木健一議員

30年度半田市一般会計決算と国民健康保険事業特別会計決算、介護保険事業特別会計決算について、反対の立場から討論します。

国は消費税10%への増税と共に社会保障の制度改悪を検討しています。

半田市は15億円を31年度に繰り越しています。市民の生活を守る予算配分を要求します。

を開催しました!!

8/23
開催

近い将来、選挙権を有することになる中学生に、議会や半田市への関心を高めてもらおうと、半田市役所 議場にて、昨年につきクイズ大会を開催しました。

14組28名の中学生が、市内全5中学校から参加して、半田市や議会に関する問題に挑戦しました。

知っているようで知らない半田市の問題や、普段は馴染みのない議会の問題に悪戦苦闘しながらも、半田市や議会に興味を湧いたようです。

参加者の友人や、家族、先生など傍聴席の皆さんも、応援しながら一緒にクイズを考え、回答に盛り上がっていました。



▲○×クイズに挑戦!!



▲みんなで掛け声!クイズ!G I K A I H E G O !!

参加されたみなさん全員が「おもしろかった」とアンケートに回答してくれました。普段は堅苦しい?議場が、この日ばかりは活気あふれる楽しい空間に。

結果発表

- 優勝：チーム ブドウ糖
榊原 英翼さん・竹田 和貴さん(青山中学校)
- 準優勝：チーム ココリオ
秋田 心暖さん・間瀬 梨央さん(亀崎中学校)
- 第3位：チーム するめいか(干)
小川 陽生さん・徳永 笑里さん(青山中学校)



みなさんも挑戦!!

出題された問題の一部です。

問1 選挙運動用ポスターには、円形、ひし形、三角形のポスターも認められている。
Oor×

問2 現在の半田市議会議長は、何代目でしょう。
①66代目 ②76代目 ③86代目

問3 令和元年8月1日現在の半田市の人口は何人でしょう。

※問1[○]、問2[◎]、問3[120,092人]



第3回 クイズ!GIKAIへGO!!

クイズ大会のあと、市役所内見学ツアーを行い、普段はなかなか見ることができない地下免震装置、市長室、議長室を見学し、椅子の座り心地を体感してみんなの満足げな顔がとても印象的でした。



▲市役所を大きな地震から守る免震装置に興味津々



▲初めて見る、議長・副議長のお仕事



▲最後にアンケート



▲市長席に座ってご満悦

中学生対象アンケート

※一部抜粋 ※回答者32人（観覧者含む）

●クイズ大会で半田市や議会について興味が湧いた？

- ①ちょっと興味がわいた …………… 25人
- ②やっぱり興味はわかかなかった…………… 2人
- ③さらに興味がわいた…………… 4人
- ④特に変わらなかった…………… 1人

●18歳になって選挙権を得たら投票する？

- ①必ず投票する …………… 19人
- ②時間があれば投票する …………… 12人
- ③関心がある選挙だけ投票する…………… 0人
- ④行かない…………… 1人

参加者の声

- ・政治などには詳しい方だと思っていたので、知らないことが多くて、もっと関心をもつことが大切だと思いました。
- ・最後の見学が楽しかったです。いつも入れない場所には入れたので貴重な経験になりました。来年も参加したいです。
- ・今まで知らなかった半田市や議会の事がとてもたくさんあったことに驚き、これからも、もっと半田市の事を知りたいと思いました。ありがとうございました。

政務活動費を使用した議員活動について

「2025年問題」社会保障・社会福祉について(研修:令和元年7月3日～5日・全国市町村国際文化研修所)

目的

団塊世代が後期高齢者となる2025年に向けて、介護・地域包括ケアシステム、地域医療、認知症予防等について、今後どのような仕組みづくりを進めていくことができるかを学び、半田市に活かしていきます。

学んだこと

- 社会保障・福祉の政策は「2025年問題」だけではなく、団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年を見据えた改革が必要となってくる。
- 2040年を見据え、健康寿命の延伸と高齢者就業拡大のための政策づくりを行う。
- 自治体で介護支援に関わるボランティア活動を行った高齢者に対し、実績に応じて換金可能なポイントを付与する「介護支援ボランティア制度」を行うことで高齢者の介護予防と地域活性化につなげていく。
- 認知症対策として医療と福祉など多職種による連携を行う。
守山野洲医師会では地域全体で認知症を見守るために、医師・歯科医師・薬剤師・看護師・ケアマネジャー・介護職・行政・地域包括支援センター職員・警察など多職種による「顔の見える関係づくり」と実例を活用したグループワークを通し考え方を共有し現場に活かす取組みを行っている。
- 超高齢化社会に対応するための地域医療が求められる。
病院を早期退院した医療の依存度の高い患者が安心して暮らせる施設として、訪問診療・看護・リハビリ・介護・入浴などを組合せた医療度の高い要介護者でも入れる施設、「IWAO」モデル地域医療が名古屋市内で行われている。

半田市に活かせること

- ・2025年問題だけではなく、2040年を見据えた社会保障・福祉を作っていく。
- ・健康寿命の延伸と高齢者就業拡大のための政策づくりを行う。
- ・半田市版「介護支援ボランティア制度」の実施。
- ・多職種連携による認知症対策の取組み。
- ・「IWAO」モデル地域医療を参考に半田市版の地域医療の取組みを行う。



<参加者 山本半治・坂井美穂>

今後の本会議の予定 12月定例会 12月3日(火)～12月13日(金)

※会期中の日程は約1週間前の会議で決定します。


あとがき

このはんだ市議会だよりは、市議会議員6名が広報委員として、執筆・写真撮りなどの実務を分担し発行しています。委員が心掛けているのは、「親しみやすさ」「読みやすさ」「解りやすさ」です。その結果、文字を減らし、写真やイラストなどを増やした紙面づくりとなっています。

皆様にとのよう評価して頂いているでしょうか。読者の皆様からも、ご意見などお寄せ頂ければ幸いです。

編集・発行 半田市議会

〒475-8666
半田市東洋町2-1
TEL 0569-84-0694
FAX 0569-24-7185
E-mail: gjji@city.handa.lg.jp



半田市議会へ
QRコードは機読ウェブの登録
商標です。

広報委員会

委員長 中川 健一
副委員長 山本 半治
委員 小出 義一 / 伊藤 正興
澤田 勝 / 久世 孝宏